

□議員名：山田伸幸

1 介護保険制度について

論点	在宅介護の一番のサービスであるホームヘルプサービスが、事業内容の見直しが行われた結果、利用者に対する十分なケアができなくなった上に、事業者にとっては事業費の減額となり、全国ではホームヘルプサービス事業を廃止する事業者が相次いでいる。介護保険制度は、在宅介護を支えていると考えているか。
回答	行政、事業者、住民の共同の仕組みづくりや地域ネットワークの構築を行い、介護問題は自分の問題でもあるという認識を持っていただく機会をふやすとともに、地域で必要とされるボランティア等の育成にも力を入れていきたい。

2 福祉施設の安全面への取り組みについて

論点	長崎県で福祉施設が火事になり、利用者が犠牲になった。介護施設の安全面への対策はできているのか。
回答	高齢者が利用する介護施設だけでなく、障がい者や子どもたちが利用する福祉施設について安全な運用が行われているのか調査していく。

3 国民健康保険について

論点	山陽小野田市の高い保険料は、所得があると保険料の負担が大変重いということだ。保険料を決める際に所得割の比重が重くなり所得350万円ではほぼ最高額に達する。それ以上の高所得者は保険料が頭打ちで、所得が高い人ほど負担率が低いという大変不公平ではないのか。
回答	保険料を減らすためには、医療費を削減する努力が必要だ。ジェネリック医薬品の推奨、市民上げて健康づくりを行っているが、すぐに効果が出るものではなく、医療費の削減に結びつくためには、ある程度の時間が必要だ。そのため、保険料を引き上げないために一般会計からの基準外の繰り入れを行い、現状を維持している状況である。

論点	保険料を滞納した人への差し押さえで子ども手当を差し押さえた事例がある。児童手当法第15条及び子ども手当法第15条、受給権の保護をうたっている。法令違反ではないのか。
回答	非常に具体的な例なので、内部の資料と照合して、これは明らかに違法だということがわかれば、全額お返しする。